

のぞみ通信



生協のぞみ訪問看護ステーション発17.10.27(金) No25

こんにちは 生協のぞみ訪問看護ステーションです

実は8月から、きらり助産院の助産師さんたちの協力をえて、ステーションを運営しています

4人の助産師が、8人の利用者宅にローテーションで訪問看護を届けています
インタビューに行きました

妊婦さんのこと以上に カンファレンスしてる よね!

(きらり助産院の助産師たち)



感想は?

- ・専門外の事が多くって!!
- 赤ちゃんとお母さんは得意だけど、高齢者看護は久しぶり カイゴホケン?
- ・“ケア”が始めは 怖くって!!
- 摘便、吸引、胃瘻管理、入浴介助、シャワー浴……
- それから、その家、その家の“流儀”がある
- ・皆さんが 待っていてくださって 嬉しい 楽しい
- ・1人暮らしの方の、ヘルパーやデイ、訪問看護の重要性を実感
- ・私の判断 正解??? 悪くなっておられないかしら… 責任の大きさ



希望は?

- ・ときどき のぞみのナースが訪問して下さるともっと安心
- ・新卒看護師の第一ステップは、利用者にお話を楽しんでいただけることかな

生協病院では、「院内留学」と称して、希望する部署の看護体験制度が始まっています
のぞみ訪問看護ステーションをいち早く希望し、体験された さくらんぼ(内科・外科)
チーム板垣綾子ナースにインタビューしました



すごいなア!

2日間、8例の訪問看護に同行しました。



動機は?

慢性心不全の患者様がこれまでどのように暮らし、これからどうしたいとお考えなのか知って支援の方法を考えたいと思った



感想は?

- ・雨の日も、雪の日も、この夏の暑さの中も利用者・家族のもとに向かうナース 限られた時間の中、利用者のみならず家族への配慮も欠かさない すごい
- ・検査の説明をしても、理解できていない方が多い。検査用紙の見直しやプロファイルの活用などに取り組みたい
- ・訪問ナースが、関係部署との連携が取れている患者様は、悪くなりにくいのだといわれた言葉

高齢者や認知障害を抱える患者様が増える今!
看護の連携で支えよう!